

# 札幌市下水道科学館のリニューアルについて

作成	建設局下水道河川部	資料
提出	平成27年1月20日	下-3

## <1. 札幌市下水道科学館について>

### ○ 設立の目的

下水道は施設の大部分が地下にあり、市民の目に触れる機会が少なく、その果たす役割の重要性や事業の大きさにもかかわらず、一般的には関心を持たれにくい施設となっています。

そこで、下水道の仕組みや下水道が水環境の保全に果たす役割などを、「見て」、「参加して」、「体験して」、楽しみながら理解していただくため、平成9年5月31日に開館いたしました。

下水道事業を通じて、環境保全の重要性を認識してもらうための環境教育施設として活用され、これまで約70万人の来館者が訪問しています。

### ○ 概要

- 【開館日】 平成9年5月31日
- 【場所】 創成川水再生プラザ敷地内  
(雨水貯留管ポンプ施設の一部を利用)
- 【施設規模】 地上3階、地下5階  
(うち展示スペース：1F、2F、B4F)
- 【建設費】 建物：8.5億円 展示物：3.5億円  
延べ床面積 約1200㎡  
展示床面積 約500㎡
- 【入館者数】 45,900人(平成25年度)
- 【管理運営】 一財)札幌市下水道資源公社に委託

## <2. 下水道科学館の課題>

### (1) 来館者数の伸び悩み

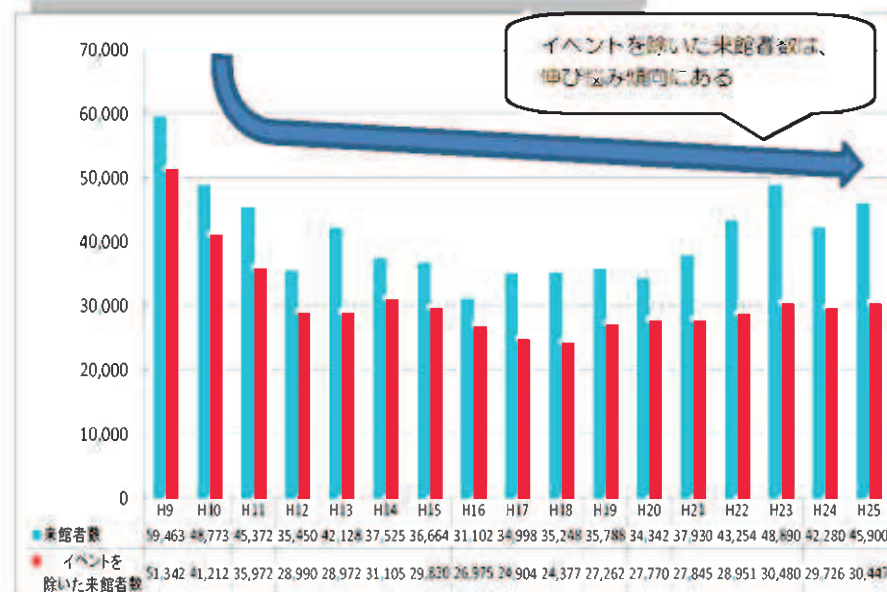


図-1 来館者数の推移

### (2) 展示物の老朽化

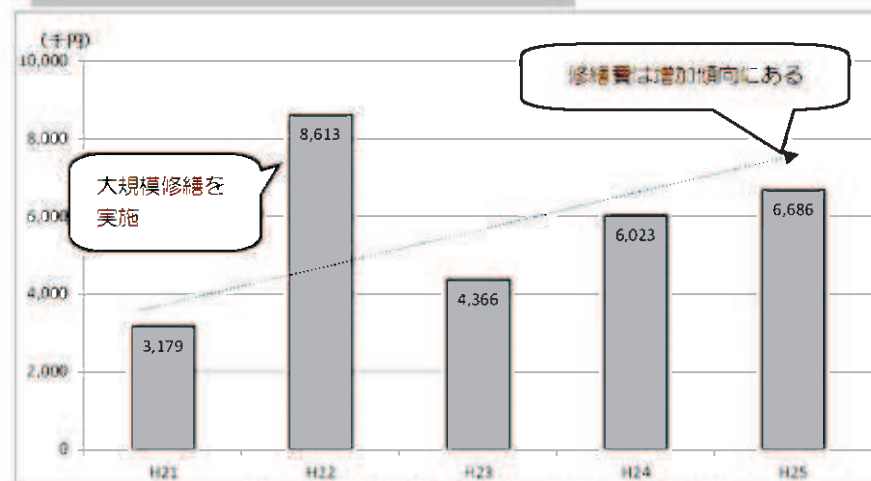


図-2 下水道科学館修繕費の推移

### (3) 展示内容の陳腐化



## <3. 見直しの経緯>

### ○ 札幌市出資団体評価委員会(平成20年度)

本市は、平成16年度に学識経験者などから構成する札幌市出資団体評価委員会を設置しています。同委員会では、平成21年2月に札幌市出資団体改革方針を策定しており、科学館の管理運営について民間事業者の活用も含め担い手の検討を行うよう求められています。

### ○ 札幌市営企業調査審議会下水道部会(平成25年度)

展示内容が変わっておらず、内容が時代に追いついていないため、展示内容の見直しをすべきとのご意見がありました。

## <4. 今後について>

- 展示物の更新に併せて、運営の担い手のあり方について、民間活力の導入を含めた検討を進め、ハードとソフトを一体的に見直すことにより、効率的かつ効果的な下水道事業の広報施設を目指したいと考えています。
- 外部委員を交えた検討委員会を設立し、平成27年度中に下水道科学館のリニューアルに関する基本計画を策定する予定です。
- 平成29年度の開館20周年に向け、次期中期経営プランの範囲内で、広報機能を確保し、下水道科学館の展示物の更新について検討を進めていきたいと考えています。

## <5. リニューアルに向けた取組>

平成26年度は「下水道科学館リニューアルアイデア会議」と称して、職員の有志による、下水道科学館のリニューアルに関する意見交換をしています。

下水道科学館の代表的な展示物



サブマリンアクアツアー(1階)



スタディーデスク(2階)



アイデア会議の様子